

森林のくに遠野まつりでイベント開催

10月10・11日に第27回森林のくに遠野まつりを遠野市運動公園で開催しました。併せて取り組みました。

遠野市産業まつりや遠野技能まつり、JAふれあいまつりと一体となった恒例のイベントで、延べ1万人を超える来場者でにぎわいました。

出展は、市、森林組合、森林管理署支署、遠野木工団地各事業体、職業訓練協会及び国生協で組織する「森林のくに遠野まつり実行委員会」が計画し、農林センターでは森林林業への理解を深めてもらうための「森林パネル」を展示するとともに市民が参加できる「木工体験」や「パウチ作り」コーナーを運営しました。森林組合や木工団地内各協同組合からは、林業用資機材や木工クラフト、板材等の販売を展開。森林管理署は緑化木の配布、職業訓練校は木製品販売のほか刃物とぎ(有料)の出展を行いました。

また、木質バイオマスの地産地消PRとして、昨年度から遠野市の(有)沼田製瓦工場が生産しているナラの束薪を販売、釜石市石村工業(株)と花巻市北進産業機械(株)が薪とペレットのストーブを展示・実演しました。

農林センターの出展には「森の達人」の応援をいただき、阿部義信さんの木工体験指導、菊池タキさんにはパウチ作りの押花提供としおり製

作の指導をしていただき、親子や少年、女性のグループで賑わいました。木工体験者には100円以上の「緑の募金」をお願いしたところ、体験者は延べ100人、募金は1万円を超える額が集まりました。

来年もさらに充実した取り組みを行い、木との触れ合いの機会を造り出していくこととしています。



「森林パネル展示」

木工体験では、大工モドキの人や図面とマイ工具持参での大作に挑む人など例年賑わっています。



「木工体験」親子の作成風景